

名工大での2025年度防災訓練実施報告

名古屋工業大学技術部技術課（安全管理室担当）

平原 英樹

1. はじめに

名古屋工業大学では毎年10月13日を中心に全学防災訓練を実施している。これまで御器所キャンパスおよび国際留学生寮がある狭間団地のみを対象にして実施してきたが、本年度は多治見地区のうち、緊急地震速報システムを追加導入した旭ヶ丘地区を訓練対象として加えた。また停電発生を想定した危機管理対策本部での訓練も試みたので、本年度での防災訓練実施について報告する。

2. 訓練実施報告および今後面向けた課題

多治見旭ヶ丘地区を訓練対象に加えたことにより、避難経路および一時避難場所の設定を行う必要が生じた。このため、多治見地区常駐職員に消防訓練時での避難行動に関する情報の確認を行った上で図1に示すように設定した。また本部報告訓練では、多治見地区的状況報告を行って頂く必要があることから、今回はTeamsによるオンラインで連携を取ることで対応することとした。

ところが、防災訓練当日に天候悪化となったため、予定していた訓練内容のうちの全学避難訓練および避難者確認訓練の実施を見合わせた。悪天候による避難訓練中止は、全学訓練を開始して以降初めてのことであった。今回避難訓練を中止したことにより、悪天候時での実災害時対応に関する備えが十分にできていない点が浮き彫りとなった。このため、今後雨天時を想定した避難および避難者確認訓練の実施を予定しているとともに、屋内での避難者集合および確認対応場所も並行して検討を行っているところである。なお、訓練終了後に実施した安否確認システムによるメール返信率を表1に示す。特に学生からの返信率について、2018年度防災訓練時の60.4%が最高となったが、その後減少傾向となつたために、数年前から安否確認システムへリマインドメール送信機能を追加して返信率向上を図ったところ52%まで改善し、返信率を18%向上させることができた。

今後安否確認訓練の実施回数を増やすなどして、安否確認への意識向上を高めていきたいと考えている。

その他の事項に関しては、情報交換会当日に報告する。

<謝辞>

防災訓練の実施および本発表を行うにあたり、長縄崇室長をはじめとした安全管理室の皆様および学内関係者各位より多大なるご協力ご支援を頂いた。ここに記して深く御礼を申し上げる。

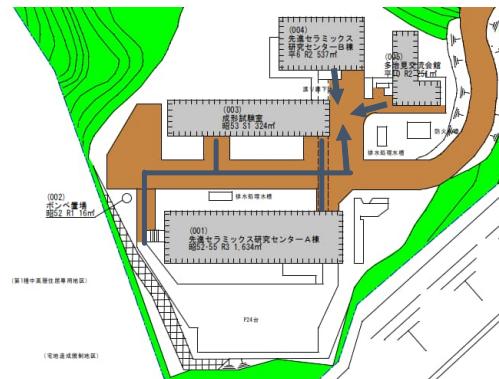


図1 多治見旭ヶ丘地区での避難経路図

表1 安否確認メール返信率

○10月17日(金)11時時点<発信1日後>

区分	発信数	回答数	回答率
学生	5,792	1,970	34%
教職員	919	706	77%

○10月21日(火)11時時点<発信5日後>

区分	発信数	回答数	回答率
学生	5,792	2,983	52%
教職員	919	827	90%

※昨年度訓練時(2024年10月21日発信)

区分	発信数	回答数	回答率
学生	5,783	2,831	49%
教職員	926	795	86%

※参考 2018年返信状況 教職員:89.2% 学生:80.4%